

平成25年11月12日(火)

文科省委託事業「確かな学力育成に係わる実践的調査研究」

東京学芸大学附属学校図書館運営専門委員会主催 公開研究会

研究主題「学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」

教科主題「学び合い、主体的な力を育む指導～中学校家庭科の授業デザインを考える(中学校現場からの提案)～」

## 技術・家庭科(家庭分野) 学習指導案

東京学芸大学附属世田谷中学校

授業者 桑原 智美(司書教諭)

村上 恭子(学校司書)

対象学級 2年D組 40名

場所 東京学芸大学附属世田谷中学校 図書館

### 生徒の実態:

1年生の時に、自分たちの生活を振り返り、「生活を見直す」の授業において身近なものを用いてリメイク作品を製作している。また、1年次の最初の授業で自己紹介を兼ねて、小学校時代までについて被服作品の製作、調理に係わる実習に関連させながら簡単なふり返しをしている。2年生になり五大栄養素などの栄養についての学習を終え、調理実習①青菜の卵とじ②だしの取り方(かきたま汁)③ひじきの煮もの④かぼちゃの煮もの⑤トマトソースのスパゲティー⑥ムニエル⑦筑前煮等を作り、⑧お弁当作りの学習をし、それらの応用編として、大量調理およびお弁当作りの調理実習を3学期に予定している。今回の自分の幼児期についての学習をこの時期に入れることで、自分は周りに支えられて生きてきたことを確認し、お弁当実習のテーマを家族や幼児などにする生徒が多くなると感じる。3年次に幼児についての学習、幼児のおもちゃの製作を行う予定であるが、今までよりも計画に具体性が出て、的確で効率良い流れで進められると思う。また、自分たちの作品が後輩の見本になっていくことの理解が進みつつあるところである。

学習内容: 家庭分野 内容A「家族・家庭と子どもの成長」

題材名: 「わたし(友達)の成長・幼児の生活と遊び」

### 題材の目標:

- ①自分の幼児期の話を家族より聞きとり、自分の幼児時代を知る。
- ②家族および自分の幼児期を知る人間と幼児期の話をすることにより、現在の自分の生活と結びつけながら考え、学びや考えを発展させる機会を得る。(多くの人に支えられて生きてきたことに気付く。)
- ③作業や調べ学習の内容を共有することにより、コミュニケーションが生まれ、他の人を思いやり、他の人の考え方や意見を聞くことができる。(協働、共感の1つの機会とする。)
- ④本を使用した個人レポートの作成を通し、学校図書館を使って正しい情報収集の仕方を学びながら、記録にまとめる学習の機会とする。

### 本時設定の理由：

家庭科の授業時間縮減の中であるが「激しく変わる社会を前向きに生きていける人間を育てたい」という希望のもと、その力を付けるべく実践的・体験的な学習を通して、実習の楽しさを知り 自分の生活に結びつけながら考え、学び、発展させていけることを本校家庭科においてテーマとしてきた。力を合わせてまとめ、話し合い、知恵を出し合うことにより、自分以外の人の考え方や、経験に触れることで自分自身の考えが深まると考えられる。また、他の生徒のことを知り、作業をすることは、自分のことだけでない公共の精神を培い、周りに支えられていることを知るよい機会と考えた。基礎的な知識を知り、お互いにコミュニケーションを取りながら活動をしていくことで、3年次に予定している「幼児の役に立つもの、幼児のおもちゃ」製作につなげていくことができる。「幼児の成長・生活」について他人と関わりながら考えることにより、自分の生活を振り返るきっかけとしていきたい。

### 題材の指導計画 (2.5時間扱い)

01. 芸術発表会において3年生の「幼児の役に立つもの、幼児のおもちゃ」を鑑賞し、興味・関心のある作品について説明できるようにしておこう。
02. お家の人から自分の幼児期のエピソードを聞こう。
03. 幼児期の写真を探しておこう。幼児について興味のある事柄をあげておこう。
  1. お家の人からのエピソードのまとめをしよう。0. 25時間
  2. 3年生の「幼児の役に立つもの、幼児のおもちゃ」作品で興味・関心のある作品についてまとめてみよう。0. 25時間
  3. 自分の幼児期のエピソードをまとめ、班のボードに貼ろう。0. 25時間
  4. \*幼児の時の写真を持ちより、各班のテーマにそって年齢別にまとめよう。0. 25時間
  5. \*個人レポートについてまとめよう。0. 5時間
  6. 他の班の発表を聞き、幼児についての知識・理解を深めよう。0. 5時間 (本時)
  7. \*どのようなおもちゃを作りたいか考え、構想を立てよう。0. 5時間 (本時)

→3年生の「幼児の役に立つもの、幼児のおもちゃ」へつなげる。

\*は授業外でも考えたり、実施をするもの。

### 本時の目標

1. 他班の発表を通じ、他の人の幼児期のエピソードに関心を寄せることができる。
2. 幼児について興味・関心を持ち、幼児期について、より深い知識を得ようとするができる。
3. 作品製作「幼児の役に立つもの、幼児のおもちゃ」について、作品構想を持つことができる。

授業過程 学習内容		生徒の学習活動	指導上の留意点 ○評価
導入 10分	学習内容と 学習目標の確 認  手順の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容・学習目標の確認。</li> <li>・今までの学習の流れを確認する。</li> <li>・本で行う発表の流れを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の内容・目標と流れを確認する。</li> <li>・先輩のおもちゃで遊ぶ幼児の映像を流す。 (プロジェクター・タブレットPC)</li> <li>・ワークシート①配布。</li> <li>・発表の流れについて説明する。 ワークシート①に説明プリントあり。</li> </ul>
展開 35分	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表について、班ごとの内容確認をする。</li> <li>・発表のない班は、コメントをまとめておく。</li> <li>・代表の5つの班の発表者が発表を行う。(3分×5班)</li> <li>・発表を見る。</li> <li>・発表のない班は、代表者が質問を行う。</li> <li>・各班の発表について各自ワークシート①を記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表に対する注意をする。(機材等含め。)</li> <li>・発表について、テーマおよび班ごとの内容確認をするように促す。 (発表時間短縮のため)</li> <li>○観察する。</li> <li>・各班の発表について各自のワークシート記入を指示。</li> <li>・質問事項についての説明をする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品製作「幼児の役に立つもの、幼児のおもちゃ」について、作品構想を持ち、ワークシート②に記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート②記入の注意事項の説明。 現時点の構想でよいこと等。</li> </ul>
まとめ 5分	まとめ 片付け・次時の 予告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート②をまとめる。</li> <li>・ワークシート①を提出する。</li> <li>・ワークシート②をファイルにはさみ提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート②記入のまとめ補助をする。</li> <li>・次時の予告</li> <li>○ワークシート①提出。</li> <li>○ファイルの提出。</li> </ul>

#### 本時の評価

1. 他班の発表を通じ、他の人の幼児期のエピソードに関心を寄せることができる。  
(発表・ワークシートより)
2. 幼児について興味・関心を持ち、幼児期について、より深い知識を得ようとするができる。  
(発表・ワークシートより)
3. 作品製作「幼児の役に立つもの、幼児のおもちゃ」について、作品構想を持つことができる。  
(ワークシートより)